

論点等説明シート

事業名	長期療養者就職支援対策費					
予算の状況 (単位:百万円)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求
	予算額(補正後)	85	247	334	547	
	執行額	70	208	268		
	執行率	82%	84%	80%		

事業についての論点等

(事業の概要)

ハローワークに就職支援ナビゲーター等を配置し、がん診療連携拠点病院等との連携のもと、以下の業務等を実施する。

- 1 個々の長期療養者の希望や治療状況等を踏まえた職業相談、職業紹介
- 2 長期療養者の希望する労働条件に応じた求人の開拓、求人条件の緩和指導
- 3 長期療養者の就職後の職場定着の支援
- 4 がん診療連携拠点病院等への出張相談、労働市場・求人情報等の雇用関係情報の提供
- 5 支援事例やノウハウ等に関する情報・意見交換を行う交流会の開催

【事業実施主体】

都道府県労働局(47局)

※5のみ民間委託

【実績(29年度)】

就職率 55.4%、支援対象者数3,144人

(論点)

社会的な要請に対して、本事業が十分に効果を上げられるような内容となっているか再検討する。

○ 長期療養者就職支援事業については、平成25年度からモデル事業として5つの労働局で開始したところ。平成28年度には全労働局で事業を展開している。

各実績については、堅調に伸びている(※)ものの、ナビゲーター1人あたりの支援対象者のアウトプットが、当初見込みを下回っている状況であり、がん連携拠点病院や積極的な周知等との連携等、支援対象者の確保を強化する必要があるのではないか

<※以下、(H25年度)⇒(H28年度)⇒(H29年度)>

- ・新規対象者数：120人⇒1780人⇒3,144人
- ・就職件数：48件⇒905件⇒1,743件(両立求人への就職176件を含む)
- ・就職率：40.0%⇒50.8%⇒55.4%
- ・連携先拠点病院数：5病院⇒88病院⇒108病院  
(参考：がん診療連携拠点病院数 401(平成30年4月1日時点))
- ・両立求人数：1,224人(H28年度)⇒5,789人(H29年度)

○ 仕事と治療が両立しやすい求人(両立求人)の確保に当たっては、支援対象者の希望に応じた柔軟な勤務条件等の設定や求人条件緩和指導等を通じた求人確保を行うことが必要であるが、長期療養者の採用等に不安を感じ、雇入れを躊躇する企業も多いなど、必ずしも支援対象者の個々のニーズを十分に踏まえた求人が確保できているとは言えない状況である(※)。

したがって、こうした課題(求人者の理解等)を解決し、支援対象者の個々のニーズを踏まえた求人確保を通じて、求人・求職のマッチングを一層効果的に推進していくことが重要ではないか。

※仕事と治療が両立しやすい求人(両立求人)を利用して就職している支援対象者は約1割。

○ 長期療養者の就労促進のためには、長期療養者の雇用に係る企業側の理解を一層促進するとともに、効果的なマッチングに向けた取組みの充実が必要ではないか。